

≡≡≡ 新製品紹介 ≡≡≡

新加飾ハンドル

New Decoration Steering Wheel

横井隆二^{*1} , 水野孝則^{*2}

1 . はじめに

近年、車室内の高級感を目的とした加飾品は、高品位、新規性、独創性といった新規の表現技術へのニーズが高まってきて、従来の技術ではこれらの要求に応えられなくなってきている。

今回、従来加飾技術の欠点を補い、難しいとされてきた曲面形状の加飾ハンドルを開発、量産化したのでその概要について報告する。



写真 - 1 新加飾ハンドル

2 . 製品の概要

製品の概観を写真 - 1 ~ 3 に示す。

従来の水圧転写工法では、水性フィルムを使用するため柄の伸び、流れにより転写精度が低く高意匠表現が課題であった。

今回、フィルムを使用せずにハンドル樹脂基材の上にインキ（柄）を密着させる表面処理技術確立することにより、リング裏面にまで高品位な意匠表現が可能となった。

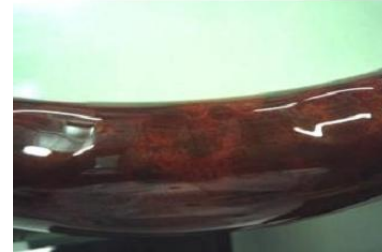


写真 - 2 リング裏面側

3 . 製品の特徴

3 - 1 . 内装部品との統一感

毎回柄の位置が同じにする事が可能になったため、室内の統一感が得られ高級感を増すことができる。

3 - 2 . パリエーション

柄の均一性が求められる幾何学模様や部品の加飾等、新規表現が可能となる。また、特別車などの新柄、新色ニーズに迅速に応え



写真 - 3 幾何学模様

ることができる。

4 . おわりに

今回紹介した「新加飾ハンドル」は現在、トヨタ カムリに採用されており、今後もこの技術を応用し、他車種にも展開していきたいと考えている。

*1 Ryuji Yokoi セーフティシステム事業部 生産技術部 試作室

*2 Takanori Mizuno Toyota Gosei Australia Pty. Ltd.